

第5章 計画期間における主な取組

地域の中で生徒達が、スポーツ・文化芸術活動に継続的に親しめる環境を整備していく大きな変革期において、生徒や保護者、教員、地域団体が共通理解の下、連携・協働により、できるところから、着実に進めていく視点が大切になります。

計画期間においては、関係団体等の実態・意向等の把握や、地域連携・地域移行に関するトライアル事業の実施等を通して、目標達成に向け具体的な取組を進めます。

1 部活動の地域連携・地域移行に関する検討委員会の開催

学校や保護者、学識経験者、市内スポーツ・文化芸術関係団体、庁内関係部署等、関係者で構成する「調布市立中学校部活動の地域連携及び地域移行に係る検討委員会」において、進捗状況を共有するとともにご意見をいただきながら今後の取組につなげていきます。

2 情報発信

児童・生徒や保護者、教員、地域団体等に対し、本市の取組の方向性や取組の進捗状況等について、ホームページや広報誌、リーフレットの配布等を通じて、情報発信し、取組の理解促進を図ります。

3 地域連携に関する取組

合同部活動のトライアル事業を行い、成果の把握や課題の洗い出し・整理を行い、今後の支援の在り方について検討を行います。

なお、全面的な地域移行(地域クラブ化)までには、当面、単独部活動や合同部活動が継続することが想定されることから、教員に代わり部活動指導を担うことができる部活動指導員や部活動外部指導員の配置拡充に努めます。

4 人材バンク制度の整備(指導者の量及び質の確保)

まずは、休日に部活動を行う割合の高い運動部活動について、調布市スポーツ協会が中心となり、市や地域団体等との連携により、技術指導ができる地域人材の把握・発掘・確保に努め、必要な指導者を学校や地域クラブ活動の運営団体に紹介できる人材バンクの整備に取り組みます。併せて、文化部活動についても指導者の量及び質の確保に向けた仕組みづくりを検討します。

また、技術指導ができる地域人材が部活動や地域クラブ活動で指導を行う際は、生徒に対する暴言・暴力や行き過ぎた指導、ハラスメント防止の徹底や、生徒の心身の健康管理、事故防止等の徹底、過度の練習の防止、適切な休養の設定など、主に教育的な観点からの留意事項等について、周知・徹底していきます。

5 地域移行に向けた取組

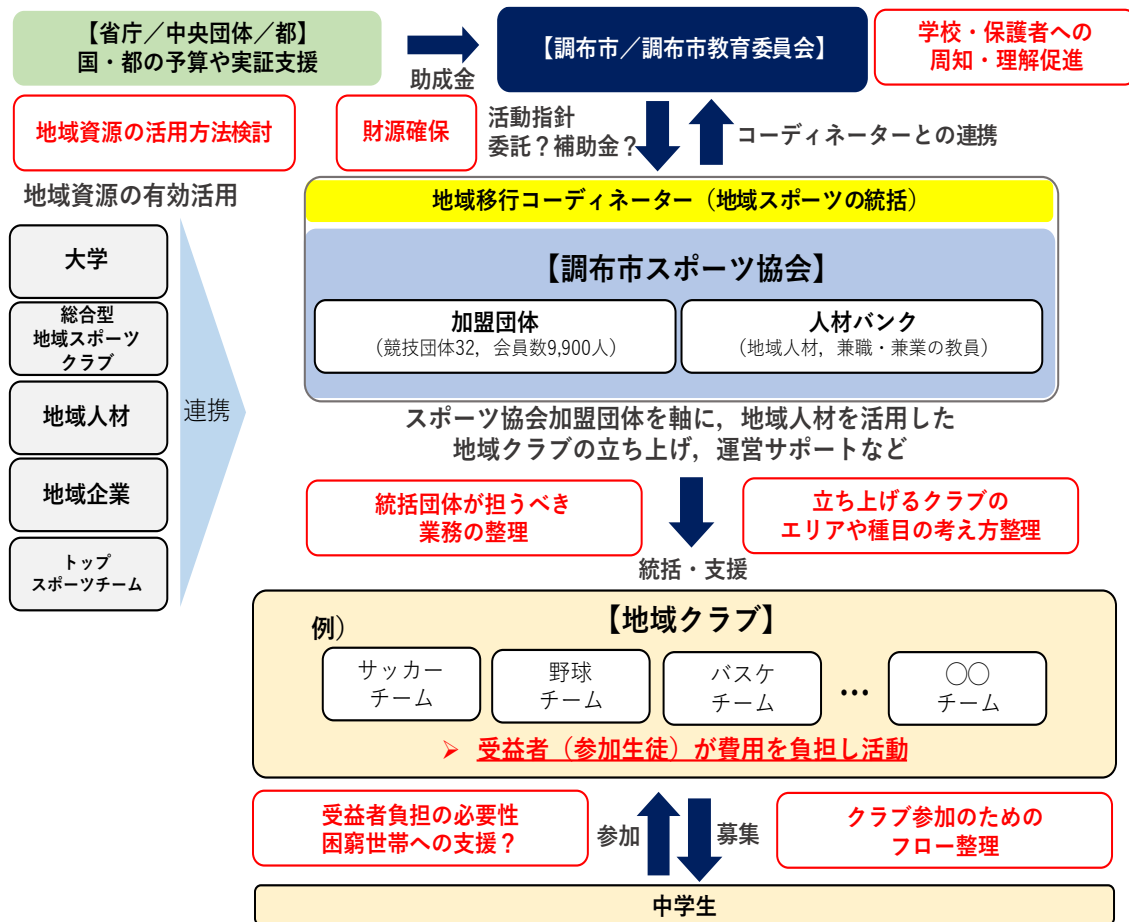
前章の基本方針の考え方を基本とし、休日の学校部活動の地域移行を進めるため、地域クラブ活動のトライアル事業を実施し、効果や課題を整理・検証しながら調布の地域資源を活用した地域移行のスキームとして、「調布モデル」を創出します。

「調布モデル」の創出に向けては、生徒がスポーツ・文化芸術活動を継続的に見えるよう、持続可能な仕組みの構築が必要となります。そのため、既に地域移行に取り組んでいる自治体の先行事例の研究を進めながら、地域クラブを統括する運営団体の確保・創出に向けた検討、地域クラブの種目等に関する考え方や費用負担のあり方などの整理などを進め、全体のスキームを検討するとともに、必要な体制整備を進めます。

なお、運動系部活動については、本市のスポーツ振興の担い手である調布市スポーツ協会を中心としたスキームを検討します。

また、併せて、兼職・兼業の許可を受けた教員が、指導者として登録できる仕組みについて検討を進めます。

<運動系部活動における地域移行のイメージ案(今後、文化系含め全体像検討)>



関係者間の円滑な連携を促し、子どもたちがスポーツ・文化芸術活動を継続的に行えるよう、持続可能な体制をオール調布で構築していく

調布市部活動地域連携・地域移行に向けたロードマップ

【推進目標】令和9年度以降、可能な限り早期に、全ての休日部活動において地域連携が地域移行を実施し、生徒が地域人材等による技術指導を受けられている。

項目		R6年度	R7年度	R8年度
計画	調布市基本計画	前期基本計画（R5～8年度）		
	本計画	前期計画（R6～8年度）		
地域連携	外部指導者による指導	指導者の質・量の確保		
		<ul style="list-style-type: none"> 外部人材による指導の拡充 部活動を指導する地域人材の確保（人材バンクの整備） 		
地域移行	運営体制	【トライアル事業】合同部活動の実施		
		<ul style="list-style-type: none"> 生徒の活動機会の確保に向けた合同部活動の実施（人数確保が困難な団体競技など） 地域移行を見据えた事例創出，課題の洗い出し・整理 		
地域移行	施設	【トライアル事業】地域クラブ活動のモデル実施		
		<ul style="list-style-type: none"> 地域クラブ活動のモデル実施による課題抽出・分析 		
	教員の関わり方	地域移行「調布モデル」の検討・地域移行体制の整備		
		<ul style="list-style-type: none"> 地域人材を確保・マッチングする仕組み 運営団体の確保・創出の検討 費用負担のあり方整理 学校と地域の役割分担整理 など 		
財源	<ul style="list-style-type: none"> 運営団体の整備 クラブの立ち上げ支援 クラブと学校のマッチング体制整備 など 			
	財源	部活時間の施設利用体制の検討		
財源		効率的な施設管理方法の検討		
	財源	具体的な運用整理		
財源		兼職兼業の仕組み整理		
	財源	部活動ガイドラインの整理		
財源		新たな枠組みの周知		
	財源	必要経費の算出		
財源		国・都などの助成金等		
	財源	財源確保		
財源		多様な財源獲得に向けた検討		

※ 後期計画期間(令和9年度～12年度)において平日の部活動の取組を進め、令和12年度以降、可能な限り早期に、平日含め全ての部活動において地域連携か地域移行を実施し、生徒が地域人材等による技術指導を受けられている。

